# Ⅲ　学校教育

## １　令和８年度 学校教育の基本方針と重点施策
## 「豊かな学びで培う強く生き抜く力育成」～学びの改革を通して～

### （１）学校教育の目標

将来のまちづくりを担う子どもたちが、なによりも命を大切にする心を持ち、未来の夢と希望、志をはぐくみ、震災からの復興に努力してきた方々の姿や当市の歴史・文化を通じて郷土を愛する心を涵養し、基礎的・基本的な知識技能の確かな定着とこれらを活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力を養い主体的に学ぶ力を育成するとともに、子どもたちが社会生活を送るために必要な豊かな人間性や社会性、健やかな心身をはぐくみ、「知・徳・体」の調和のとれた「強く生き抜く力」の育成を図る。

### （２）学校教育の基本方針

ア　生命尊重の精神を根幹に据えた学校経営の充実
イ　家庭・地域との連携・協働による学校経営の充実
ウ　強く生き抜く力の基盤としての確かな学力、豊かな心、健やかな心身をはぐくむ教育の充実
エ　自らの未来を切り拓くための主体性をはぐくむ教育の充実
オ　多様な価値観を持った人との関わりの中で自己を伸ばし社会性をはぐくむ教育の充実
カ　ふるさとを大切に思う心の醸成

### （３）教育推進のキーワード

ア　まもる　　【子どもの命を守る】
イ　つくる　　【魅力ある学校をつくる】
ウ　たかめる　【教職員の指導力、授業力を高める】
エ　のばす　　【子ども一人一人のよさや可能性を伸ばす】
オ　つなぐ　　【歴史や文化、災害の教訓をつなぐ　子どもと地域や社会をつなぐ】
カ　ささえる　【子どもの学びと育ちを支える】

### （４）めざす学校

－　子どもが育つ魅力ある学校　－

ア　授業が魅力的な学校
イ　豊かな人間関係が育まれ一人ひとりが成長できる学校
ウ　子どもの「やってみたい」を大切にする学校
エ　夢や希望、志が育まれる学校
オ　保護者、地域と共にある学校

### （５）めざす児童生徒

ア　知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（健やかな体）を備えた児童生徒
イ　当たり前の日常に感謝できる児童生徒
ウ　当事者意識をもち自分で考え行動できる児童生徒
エ　仲間と切磋琢磨し自らを成長させようと努力する児童生徒
オ　人とのつながりを大切にし、地域や社会に関心をもち進んで関わろうとする児童生徒
カ　ふるさとを大切に思う児童生徒

### （６）重点施策

#### ア　いのちの教育の推進

○　学校教育全体を通じた生命尊重の意識の醸成

○　防災教育の手引きを活用した計画的な指導
○　「いのちの教育」全体指導計画に基づく取組
○　避難訓練等地域と連携した取組の推進

**イ　確かな学力の育成**

○　資質・能力（「知識及び技能」の習得、「思考力・判断力・表現力」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）の育成
○　「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善
○　個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実
○　ICT を活用した教育の推進
○　小中連携による指導方法の工夫・改善
○　校内研究の充実
○　言語活動の充実
○　諸調査の分析・活用
○　家庭学習の充実

**ウ　豊かな心の育成**

○　学校教育全体を通じた「思いやりの心」「感謝の心」「奉仕の心」「互いの違いや良さを認め合う心」の育成
○　規範意識・公徳心の向上
○　豊かな情操の育成
○　道徳教育の推進
○　体験活動の充実
○　読書活動の推進
○　人権教育の推進

**エ　健やかな体の育成**

○　学校体育の充実による体力・運動技能の向上
○　60（ロクマル）プラスプロジェクトの推進
○　「ラグビーのまち釜石」に根差した活動
○　各種健診結果に基づく自身の健康の保持増進への意識の向上
○　感染症等への理解・予防の取組
○　健康教育の推進
○　食育の推進

**オ　ふるさとを大切に思う心の醸成**

○　「鉄」を生かした「鉄の学習」の実施
○　艦砲射撃の歴史を通した平和教育
○　ラグビーの取組
○　郷土芸能の伝承
○　地元産業の理解
○　地域人材の活用

**カ　新しい時代に活躍できる力の育成**

○　ＩＣＴ教育の推進
○　国際理解教育の推進
○　キャリア教育の推進
○　かまいし絆会議の取組による社会参画意識の醸成・主体性の育成
○　主権者教育の推進

**キ　多様なニーズに応じた教育の推進**

○　特別支援教育の充実（特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的支援・対応、個別の支援計画・指導計画の作成・活用による一人ひとりに応じた支援・指導の充実、地域・保護者へのインクルーシブ教育への理解促進、通常の学級における合理的配慮の充実）
○　生徒指導の充実（生徒指導主事を中心とした組織的対応による未然防止・早期発見・早期対応、教育活動全体を通じた自己指導力の育成、不登校児童生徒への支援の充実、いじめ防止対策の推進、ＳＣやＳＳＷ、教育相談員の活用、きめ細やかな教育相談の実施、日常的なこころのサポート体制の充実、関係機関との連携強化）

**ク　家庭・地域と連携・協働した教育活動の推進**

○　コミュニティスクールの推進
○　まなびフェストによる保護者・地域との目標の共有
○　学校評価の活用
○　地域学校協働本部事業の活用
○　地域理解と地域貢献

**ケ　幼保小の連携及び校種間連携の充実**

○　早期からの就学支援の充実
○　子どもの発達や学びの連続性を意識した幼保小接続の取組（架け橋期のカリキュラムに基づく実践）
○　幼児保育・教育施設と小学校との交流活動の実施
○　幼児教育アドバイザーの活用と育成
○　中学校区実践交流会を中核とした小中連携の推進
○　高等学校による小中学校への出前授業の実施と活用

**コ　学びと育ちを支える教育環境の整備・充実**

○　学校図書の充実
○　教材備品の計画的な整備
○　ＩＣＴ環境整備
○　学校及び児童生徒支援のための人的配置の充実
○　通学路安全点検の実施
○　学校施設の修繕・補修
○　学校施設の整備（学校トイレの洋式化、特別教室へのエアコン設置等）
○　学校給食の充実
○　部活動の充実
○　教職員の働き方改革の推進

**サ　学校規模適正化・適正配置の推進**

○　学校規模適正化・適正配置推進計画に基づく取組の推進

**シ　文化財の保存・活用**

○　「釜石市文化財保存活用地域計画」による計画的・継続的な文化財の保存・活用

○　橋野高炉跡及び屋形遺跡の発掘調査

○　各種文化財の調査

○　郷土資料館、鉄の歴史館、旧大橋鉱山事務所、世界遺産インフォメーションセンター等各種施設の整備・活用

## ２　関係事業一覧

| 区分 | No | 事業名 | | 年月日 | 曜 | 会場 | 趣旨 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ会議等 | 1 | 校長会議 | 第１回 | R8. 4. 8 | 水 | 第７会議室 | 学校経営上の諸問題について協議し、調和と統一のある教育課程の編成・実施と、特色のある学校経営の推進に資する。 |
| | | | 第２回 | R8. 6.22 | 月 | | |
| | | | 第３回 | R8. 8.24 | 月 | | |
| | | | 第４回 | R8.10.20 | 火 | | |
| | | | 第５回 | R8.11.16 | 月 | | |
| | | | 第６回 | R9. 2.17 | 水 | | |
| | 2 | 副校長会議 | | R8. 4.22 | 水 | 第７会議室 | 学校経営上の諸問題について、学校長を補佐する立場から協議し、学校経営の充実に資する。 |
| | 3 | 教務主任会議 | | R9. 2. 3 | 水 | 教育委員会会議室 | 学校教育目標の具現化を目指した教育課程の編成及びその効果的・効率的な実施の在り方等について協議し、望ましい教務運営に資する。 |
| | 4 | 釜石市いじめ問題対策連絡協議会 | 第１回 | R8. 7. 7 | 火 | 教育委員会会議室 | 関係機関等が児童生徒のいじめに関する課題意識を共有し、いじめの未然防止と早期解決に資する。 |
| | | | 第２回 | R8.11.18 | 水 | | |
| | | | 第３回 | R9. 2.19 | 金 | | |
| | 5 | アレルギー疾患対応委員会 | | R8. 9. 8 | 火 | 教育委員会会議室 | 関係機関等がアレルギー疾患のある児童生徒への対応の在り方について共有する。 |
| | 6 | 学校教育支援員等研修会 | | R8. 8. 6 | 木 | 教育委員会会議室 | 校内教育支援センターでの支援の目的等を確認し、適切な支援方法等を研修し、支援の充実に資する。 |
| | 7 | かまいし絆会議<br>～未来への第一歩～ | 第２回 | R8. 8. 4 | 火 | 市民ホール | 各小・中学校の代表児童生徒が地域のために何ができるかを仲間と考え、実践する中で、将来の釜石市を担うリーダーとし |
| | | | 第１回 | R9. 2.12 | 金 | 釜石 PIT | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ会議等 | 8 | かまいし絆会議<br>専門部会 | 第２回 | R8. 7.15 | 水 | 第７会議室 | ての資質・能力の育成に資する。 |
| | | | 第１回 | R9. 1.19 | 火 | 教育委員会<br>会議室 | |
| | 9 | かまいし絆会議担当者<br>説明会 | | R8. 5.26 | 火 | オンライン | |
| | 10 | 労働安全衛生委員会 | 第１回 | R8. 8.28 | 金 | 教育委員会<br>会議室 | 各小・中学校教職員の業務の適正化を図るための方策を検討し、教職員が子どもに向き合う時間を確保し、教育の充実に資する。 |
| | | | 第２回 | R9. 1.22 | 金 | | |
| Ⅱ研修会 | 11 | 市初任者研修会 | | R8. 4. 9 | 木 | 鵜住居地区生活応援センター／いのちをつなぐ未来館 | 実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させることを通して、指導力の向上に資する。 |
| | 12 | 新任着任研修会 | | R8. 4. 9 | 木 | | 本市に着任する教員が、本市の歴史や文化、重点施策等を理解することにより、その後の教育活動の充実に資する。 |
| | 13 | ICT 研修会 | | R8. 4.21 | 火 | 第７会議室 | 一人一台端末の使い方及び校務における生成 AI の活用について学び、今後の教育活動の充実に資する。 |
| | 14 | 生徒指導主事研修会 | | R8. 4.23 | 木 | 第７会議室 | 市及び各校の生徒指導上の課題を通して、校内における組織的指導・支援体制の在り方等について理解を図り、生徒指導の充実に資する。 |
| | 15 | 研究主任研修会 | | R8.12. 1 | 火 | 教育委員会<br>会議室 | 各校における校内研究の推進及び充実に資する。 |
| | 16 | 幼保小連携研修会 | | R8. 6.17 | 水 | 市内小学校<br>市内幼児施設 | 就学前の教育・保育から小学校教育の円滑な接続について共通理解を図る。 |
| | 17 | 保育・学校教育体験 | | | | 市内小学校<br>市内幼児施設 | 環境構成について体験的に理解を図り、指導の在り方について考える。 |
| | 18 | 中学校教科研修会<br>（国語・数学） | 国語 | R8. 6.25 | 木 | 市内中学校 | 教科にかかわる交流の場を設け、教育実践や課題を共有するとともに、授業改善の方策を検討する。 |
| | | | 数学 | R8. 6.23 | 火 | 市内中学校 | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅲ教育研究所 | 19 | 運営委員会 | 第１回 | R8. 4.20 | 月 | 教育委員会会議室 | 当市の教育課題の解決やこれからの学校教育に求められる研究を行う機関としての役割を踏まえ、研究活動の在り方等について協議し、教育研究所の研究推進の充実に資する。 |
| | | | 第２回 | R8.10.29 | 木 | | |
| | | | 第３回 | R9. 1.28 | 木 | | |
| | 20 | 全体会・部会 | 第１回 | R8. 5.11 | 月 | 第７会議室 | |
| | | | 第２回 | R8.10.29 | 木 | 教育委員会会議室 | |
| | | | 第３回 | R9. 1.28 | 木 | | |
| | 21 | 研究発表大会・教育講演会 | | R9. 1. 7 | 木 | 市民ホール | 教育研究所及び市内各幼児施設・小・中学校における教育研究の成果を発表し合うことにより、当市における学校教育の充実・向上に資する。 |
| Ⅳ実践交流 | 22 | 中学校区実践交流会 | | R8.11.11 | 水 | 各中学校区 | 各中学校区における教育実践の活性化を図るとともに、児童生徒一人ひとりに確かな学力の育成に資する。 |
| Ⅴ学校訪問 | 23 | 学校訪問 | | R8. 5.29 | 金 | 甲子小学校 | 学校の経営上の諸問題について協議するとともに、事務処理の状況を把握し、円滑な幼稚園・学校運営の推進に資する。 |
| | | | | R8. 6. 1 | 月 | 唐丹中学校 | |
| Ⅵ就学・教育支援関係 | 24 | 教育支援委員会 | 第１回 | R8. 4.27 | 月 | 第７会議室 | 当市の就学及び教育支援に関する課題について協議し、障がいのある児童生徒の適正な教育支援の推進に資する。 |
| | | | 第２回 | R8. 9.28 | 月 | 教育委員会会議室 | |
| | | | 第３回 | R8.11.25 | 水 | 教育委員会会議室 | |
| | | | 第４回 | R9. 2. 8 | 月 | 教育委員会会議室 | |
| | 25 | 釜石市調査員会議（巡回相談員会議） | 第１回 | R8. 4.27 | 月 | 第７会議室 | 障がいに関する対応等について教員への相談にあたるとともに、指導内容及び方法についての指導・助言を行うことにより、個に応じた支援の充実に資する。 |
| | | | 第２回 | R8. 9. 3 | 木 | 教育委員会会議室 | |
| | | | 第３回 | R8.11. 9 | 月 | | |
| | | | 第４回 | R9. 1.25 | 月 | | |
| | 26 | 教育支援担当者説明会兼特別支援教育研修会 | | R8. 5. 8 | 金 | 第７会議室 | 就学及び教育支援の進め方について共通理解を図り、各校での支援の充実に資する。 |
| | 27 | 特別支援教育支援員等研修会 | | R8. 7.27 | 月 | 教育委員会会議室 | 特別支援教育支援の進め方についてより具体的な支援方法等を研修し、支援の充実に資する。 |
| | 28 | 学校教育支援員研修会（実践交流会） | | R8. 8. 6 | 木 | 教育委員会会議室 | 実践の成果や課題を共有し、互いに学び合い、スキルを高め合う場を設けることで、今後の不登校支援の質と効果の向上に資する。 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅶその他 | 29 | スクールガード等情報交換会（副校長会議） | R8. 4.22 | 水 | 第7会議室 | 地域ぐるみの安全整備体制の整備を通して、児童生徒の安全な生活に資する。 |
| | 30 | 釜石市・大館市児童生徒交流事業 | R9. 2.12 | 金 | 釜石PIT | 交流を通して互いのよさを学び合い、より良い学校や地域づくりをしようとする意識の向上に資する。 |
| | 31 | 釜石市・北九州市児童生徒防災交流事業 | 11月中 | | 栗林小学校（オンライン） | 交流を通して互いのよさを学び合い、より良い学校や地域づくりをしようとする意識の向上に資する。 |
| | 32 | 釜石市・東海市小学生交流事業 | R8. 8.27 | 木 | 釜石小学校 | 交流を通して互いのよさを学び合い、より良い学校や地域づくりをしようとする意識の向上に資する。 |
| | 33 | 釜石市・青森市平和交流事業 | R8. 8. 9 | 日 | 釜石市 | 青森市・釜石市の中学生が交流することを通して、平和や防災対策の大切さについて学ぶ。 |
| | 34 | 釜石市・朝日町交流事業 | 12月初旬 | | 釜石中学校（オンライン） | 交流を通して互いのよさを学び合い、より良い学校や地域づくりをしようとする意識の向上に資する。 |
| | 35 | 中学生海外体験学習事業 | R8年度は休止 | | フランス共和国ディーニュ・レ・バン市　等 | 釜石市と姉妹都市であるディーニュ・レ・バン市で同年代の青少年との交流や海外文化の体験等を通して、異文化に対する理解を深め、将来、市の国際化に貢献できる人材の育成を図る。 |

## 3　市立学校一覧

### (1)　幼稚園・小学校・中学校

令和8年4月1日現在

| 幼稚園名 | 園長名 | 所在地 | 電話番号 | ﾌｧｯｸｽ番号 |
|---|---|---|---|---|
| 鵜住居 | 岩　渕　勝　也 | 鵜住居町13-103-1 | 28-1733 | 28-1733 |

（注）鵜住居幼稚園は令和8年4月1日から休園

令和8年4月1日現在

| 小学校名 | 校長名 | 所在地 | 電話番号 | ﾌｧｯｸｽ番号 |
|---|---|---|---|---|
| 釜　石 | 五安城　正　敏 | 大渡町3-14-8 | 22-3513 | 22-2845 |
| 双　葉 | 伊　藤　郁　子 | 新町1-58 | 23-5119 | 23-5129 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 白　山 | 鈴　木　　慎 | 嬉石町3-6-1 | 22-3834 | 22-3850 |
| 平　田 | 布　田　　貢 | 平田町2-102 | 26-5230 | 26-5248 |
| 小佐野 | 松　本　孝　嗣 | 小佐野町3-5-37 | 23-5539 | 23-5540 |
| 甲　子 | 細　田　多　聞 | 甲子町9-87 | 23-5525 | 23-5520 |
| 鵜住居 | 高　橋　美友紀 | 鵜住居町13-20-3 | 28-3705 | 28-3706 |
| 栗　林 | 高　橋　昭　英 | 栗林町16-46 | 28-2517 | 28-2503 |
| 唐　丹 | 村　上　優　子 | 唐丹町字小白浜314 | 55-2105 | 55-2107 |

令和8年4月1日現在

| 中学校名 | 校長名 | 所在地 | 電話番号 | ﾌｧｯｸｽ番号 |
|---|---|---|---|---|
| 釜　石 | 佐々木　一　成 | 中妻町1-6-8 | 23-5523 | 25-1340 |
| 甲　子 | 樋　岡　繁　典 | 甲子町9-156 | 23-6520 | 23-6508 |
| 釜石東 | 高　橋　晃　一 | 鵜住居町13-20-3 | 28-3010 | 28-2839 |
| 唐　丹 | 野　田　満　哉 | 唐丹町字小白浜314 | 55-2106 | 55-2667 |
| 大　平 | 中　村　明　彦 | 大平町3-6-1 | 22-4158 | 22-4157 |

### ⑵　園児・児童・生徒数の推移

| 幼稚園名 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 | 令和7年 | 令和8年 |
|---|---|---|---|---|---|
| 鵜住居 | 13 | 9 | 5 | 4 | 0 |
| 計 | 13 | 9 | 5 | 4 | 0 |

資料：学校基本調査（各年5月1日現在）　（注）鵜住居幼稚園は令和8年4月1日から休園

| 小学校名 | 令和4年 | | 令和5年 | | 令和6年 | | 令和7年 | | 令和8年 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 |
| 釜　石 | 8 | 92 | 8 | 86 | 8 | 80 | 8 | 68 | 8 | 62 |
| 双　葉 | 7 | 135 | 8 | 130 | 8 | 119 | 8 | 104 | 8 | 94 |
| 白　山 | 4 | 30 | 4 | 32 | 4 | 31 | 3 | 33 | 3 | 27 |
| 平　田 | 8 | 148 | 8 | 160 | 9 | 143 | 8 | 42 | 8 | 144 |
| 小佐野 | 15 | 288 | 15 | 285 | 16 | 283 | 14 | 250 | 10 | 217 |
| 甲　子 | 14 | 248 | 14 | 249 | 12 | 225 | 12 | 226 | 11 | 212 |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 鵜住居 | 8 | 140 | 8 | 147 | 8 | 143 | 8 | 129 | 8 | 130 |
| 栗　林 | 5 | 33 | 6 | 31 | 5 | 30 | 3 | 25 | 3 | 26 |
| 唐　丹 | 6 | 56 | 6 | 53 | 5 | 44 | 6 | 38 | 5 | 36 |
| 計 | 75 | 1,170 | 77 | 1,173 | 75 | 1,098 | 70 | 1,015 | 64 | 948 |

資料：学校基本調査（各年5月1日現在）

| 中学校名 | 令和4年 | | 令和5年 | | 令和6年 | | 令和7年 | | 令和8年 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学級数 | 生徒数 | 学級数 | 生徒数 | 学級数 | 生徒数 | 学級数 | 生徒数 | 学級数 | 生徒数 |
| 釜　石 | 13 | 323 | 12 | 289 | 13 | 295 | 12 | 284 | 13 | 273 |
| 甲　子 | 9 | 129 | 8 | 128 | 8 | 124 | 6 | 112 | 7 | 111 |
| 釜石東 | 6 | 101 | 4 | 83 | 5 | 85 | 5 | 86 | 5 | 84 |
| 唐　丹 | 3 | 20 | 3 | 22 | 3 | 31 | 3 | 27 | 3 | 25 |
| 大　平 | 5 | 101 | 4 | 81 | 4 | 81 | 5 | 75 | 5 | 88 |
| 計 | 36 | 674 | 31 | 603 | 33 | 616 | 31 | 584 | 33 | 581 |

資料：学校基本調査（各年5月1日現在）

### ⑶　学年別園児・児童・生徒数

令和8年5月1日現在

| 幼稚園名 | ３歳 | ４歳 | ５歳 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 鵜住居 | 0 | 0 | 0 | 0 |

（注）鵜住居幼稚園は令和8年4月1日から休園

令和8年5月1日現在

| 小学校名 | １年 | ２年 | ３年 | ４年 | ５年 | ６年 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 釜　石 | 6 | 9 | 13 | 10 | 13 | 11 | 62 |
| 双　葉 | 7 | 15 | 17 | 16 | 20 | 19 | 94 |
| 白　山 | 2 | 4 | 3 | 6 | 8 | 4 | 27 |
| 平　田 | 24 | 24 | 23 | 30 | 20 | 23 | 144 |
| 小佐野 | 17 | 34 | 37 | 36 | 34 | 59 | 217 |
| 甲　子 | 29 | 34 | 31 | 42 | 39 | 37 | 212 |
| 鵜住居 | 18 | 15 | 22 | 26 | 21 | 28 | 130 |
| 栗　林 | 4 | 3 | 4 | 5 | 5 | 5 | 26 |
| 唐　丹 | 5 | 5 | 4 | 4 | 8 | 10 | 36 |
| 計 | 112 | 143 | 154 | 175 | 168 | 196 | 948 |

令和8年5月1日現在

| 中学校名 | １年 | ２年 | ３年 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 釜　石 | 74 | 107 | 92 | 273 |
| 甲　子 | 39 | 33 | 39 | 111 |
| 釜石東 | 21 | 34 | 29 | 84 |
| 唐　丹 | 6 | 8 | 11 | 25 |
| 大　平 | 31 | 23 | 34 | 88 |
| 計 | 171 | 205 | 205 | 581 |

### ⑷　施設の現況

#### ア　幼稚園

| 園　名 | 校地<br>面積 | 園舎<br>面積 | 屋内運動場<br>面積 | プール<br>水面積 | 耐震<br>ランク |
|---|---|---|---|---|---|
| 鵜住居 | 5,958 | 585 | ― | ― | 新耐震基準 |

#### イ　小学校

| 学校名 | 校地<br>面積 | 校舎<br>面積 | 屋内運動場<br>面積 | プール<br>水面積 | 普通<br>教室数 | 特別<br>教室数 | 耐震<br>ランク |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 釜　石 | 12,109 | 2,967 | 700 | 250 | 8 | 6 | A |
| 双　葉 | 12,837 | 4,941 | 720 | 320 | 8 | 7 | 新耐震基準 |
| 白　山 | 17,579 | 2,388 | 831 | 320 | 4 | 6 | A |
| 平　田 | 11,240 | 3,336 | 919 | 350 | 8 | 7 | 新耐震基準 |
| 小佐野 | 16,110 | 4,512 | 1,248 | 400 | 14 | 7 | 新耐震基準 |
| 学校名 | 校地<br>面積 | 校舎<br>面積 | 屋内運動場<br>面積 | プール<br>水面積 | 普通<br>教室数 | 特別<br>教室数 | 耐震<br>ランク |
| 甲　子 | 12,711 | 3,794 | 1,102 | 350 | 13 | 7 | 新耐震基準 |
| 鵜住居 | 39,271 | 3,780 | 901 | 400 | 8 | 7 | 新耐震基準 |
| 栗　林 | 8,035 | 1,410 | 700 | 320 | 6 | 7 | A |
| 唐　丹 | 11,604 | 2,416 | 659 | 180 | 6 | 7 | 新耐震基準 |
| 合　計 | 90,621 | 23,348 | 6,220 | 2,310 | 75 | 61 | |

#### ウ　中学校

| 学校名 | 校地<br>面積 | 校舎<br>面積 | 屋内運動場<br>面積 | プール<br>水面積 | 普通<br>教室数 | 特別<br>教室数 | 耐震<br>ランク |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 釜　石 | 17,596 | 6,391 | 1,556 | ― | 9 | 8 | 新耐震基準 |
| 甲　子 | 16,826 | 3,289 | 1,237 | ― | 7 | 7 | 新耐震基準 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 釜石東 | 37,731 | 3,477 | 863 | ― | 4 | 7 | 新耐震基準 |
| 唐　丹 | 9,118 | 1,951 | 517 | ― | 3 | 7 | 新耐震基準 |
| 大　平 | 14,947 | 3,715 | 918 | ― | 4 | 7 | A |
| 合　計 | 49,369 | 13,395 | 3,711 | ― | 28 | 36 | |

※釜石中学校は、屋内運動場に格技室423㎡を含む。

※耐震ランク　新耐震基準　昭和56年６月１日に改正された現在の耐震設計基準で作られています。

A　Is 値が、0．6以上のもの（耐震改修促進法において「地震の震動及び衝撃に対し倒壊し、又は崩壊する危険性が低い」とされています。）

B　Is 値が、0．3以上～0．6未満のもの

C　Is 値が、0．3未満のもの

## ４　市内県立学校一覧

令和8年4月1日現在

| 学校名 | 校長名 | 所在地 | 電話番号 | ﾌｧｯｸｽ番号 |
|---|---|---|---|---|
| 釜石高等学校 | 田　鎖　伸　也 | 甲子町10-614-1 | 23-5317 | 23-7783 |
| 釜石高等学校定時制 | | | | 23-8611 |
| 釜石商工高等学校 | 小　松　　了 | 大平町3-2-1 | 22-3030 | 31-1533 |
| 釜石祥雲支援学校<br>小・中学部<br>高等部 | 佐　藤　康　信 | 平田町3-1700 | 26-6020 | 36-1911 |

## ５　中学校卒業生の進路状況

| 項目＼卒業年月 | | | 令和４年3月 | 令和５年3月 | 令和６年3月 | 令和７年3月 | 令和８年3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 進学者 | 県内高等学校本科 | 公立全日制 | 178 | 200 | 162 | 192 | 142 |
| | | 公立定時制 | 2 | 2 | 3 | 7 | 4 |
| | | 通信制 | 5 | 3 | 7 | 5 | 3 |
| | | 私立 | 17 | 18 | 13 | 14 | 7 |
| | | 小計 | 202 | 223 | 185 | 218 | 156 |
| | 県外高等学校本科 | 公立全日制 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 |
| | | 公立定時制 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 通信制 | 0 | 3 | 0 | 1 | 4 |
| | | 私立 | 4 | 5 | 10 | 8 | 6 |
| | | 小計 | 4 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| | 高等学校本科合計 | 公立全日制 | 178 | 202 | 162 | 193 | 142 |
| | | 公立定時制 | 2 | 2 | 3 | 7 | 4 |
| | | 通信制 | 5 | 6 | 7 | 6 | 7 |
| | | 私立 | 21 | 23 | 23 | 22 | 13 |
| | | 合計 | 206 | 233 | 195 | 228 | 166 |
| | 高等専門学校合計 | 一関高専 | 2 | 2 | 1 | 4 | 2 |
| | | 県外高専 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| | | 合計 | 3 | 3 | 1 | 5 | 2 |
| | 特別支援学校高等部合計 | 県内 | 2 | 3 | 0 | 0 | 1 |
| | | 県外 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 合計 | 2 | 3 | 0 | 0 | 1 |
| 高等学校進学者の総合計 | | | 211 | 239 | 196 | 233 | 169 |
| 非進学者総合計 | | | 1 | 3 | 0 | 1 | 3 |
| 卒業者総数 | | | 211 | 242 | 196 | 234 | 172 |

## ６　学校保健

### ⑴　令和８年度　児童生徒健康診断

◎健診・検査項目及び対象学年

・内科検診（全学年）　・歯科検診（全学年）
・眼科検診（全学年）　・耳鼻科検診（全学年・学年指定校もあり）
・尿検査（小・中学校全学年）　・心臓検査（小学校１年生、中学校１年生）
・生活習慣病予防検査（小学校４年生、中学校１年生の希望者）
・貧血検査（中学校２年生の希望者）　・脊柱側弯検査（小学校５年生、中学校１年生）

### ⑵ 令和８年度　学校医・学校歯科医・学校薬剤師

**ア　幼稚園**　　令和8年4月1日現在

| 幼稚園名 | 内　科　医 | 眼　科　医 | 耳 鼻 科 医 | 歯　科　医 |
|---|---|---|---|---|
| 鵜住居 | 藤丸　　潔 | 堀　美知子 | 堀　　晃 | 三浦　　孝 |

**イ　小学校**　　令和8年4月1日現在

| 小学校名 | 内　科　医 | 眼　科　医 | 耳 鼻 科 医 | 歯　科　医 | 薬　剤　師 |
|---|---|---|---|---|---|
| 釜　石 | 釜石ファミリークリニック | 堀　美知子 | 堀　　晃 | 及川　陽次 | 氏家　知香 |
| 双　葉 | 小笠原　善郎 | 堀　美知子 | 堀　　晃 | 福成　　玄 | 八木　章雄 |
| 白　山 | 神林　敦彦 | 佐渡　一成 | 堀　　晃 | 工藤　一貴 | 佐藤　　亮 |
| 平　田 | 平野　春人 | 佐渡　一成 | 堀　　晃 | 八重樫　祐成 | 大釋　里佳子 |
| 小佐野 | 小笠原　善郎 | 堀　美知子 | 堀　　晃 | 福成　　玄 | 瀬戸　由里香 |
| 甲　子 | せいてつ記念病院 | 佐渡　一成 | 堀　　晃 | 工藤　一貴 | 松田　智行 |
| 鵜住居 | 濱登　文寿 | 堀　美知子 | 堀　　晃 | 山崎　ひとみ | 金野　宏美 |
| 栗　林 | 道又　　衛 | 堀　美知子 | 堀　　晃 | 鈴木　　勝 | 藤原　春香 |
| 唐　丹 | 平野　春人 | 堀　美知子 | 堀　　晃 | 八重樫　祐成 | 石田　昌玄 |

**ウ　中学校**　　令和8年4月1日現在

| 中学校名 | 内　科　医 | 眼　科　医 | 耳 鼻 科 医 | 歯　科　医 | 薬　剤　師 |
|---|---|---|---|---|---|
| 釜　石 | 釜石ファミリークリニック | 堀　美知子 | 堀　　晃 | 山崎　ひとみ | 袴田　達也 |
| 甲　子 | 神林　敦彦 | 佐渡　一成 | 堀　　晃 | 三浦　　孝 | 佐藤　　亮 |
| 釜石東 | 濱登　文寿 | 堀　美知子 | 堀　　晃 | 鈴木　　勝 | 金野　宏美 |
| 唐　丹 | 平野　春人 | 堀　美知子 | 堀　　晃 | 八重樫　祐成 | 石田　昌玄 |
| 大　平 | 藤井　　悠 | 佐渡　一成 | 堀　　晃 | 及川　陽次 | 大釋　　瞬 |

### ⑶　令和７年度　児童・生徒の体位調査

| | | | 小１ | 小２ | 小３ | 小４ | 小５ | 小６ | 中１ | 中２ | 中３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男 | 釜石市平均値 | 人　　数 | 77 | 80 | 82 | 84 | 96 | 80 | 105 | 107 | 73 |
| | | 身長（cm） | 118.3 | 123.1 | 129.1 | 135.8 | 142.4 | 147.8 | 154.6 | 162.2 | 166.6 |
| | | 体重（kg） | 22.3 | 27.0 | 30.6 | 39.4 | 30.8 | 42.8 | 48.4 | 52.1 | 60.6 |
| | 岩手県平均値 | 身長（cm） | 117.7 | 123.0 | 129.3 | 134.4 | 140.4 | 147.4 | 154.7 | 161.3 | 166.4 |
| | | 体重（kg） | 22.4 | 24.8 | 28.9 | 31.9 | 36.2 | 41.0 | 47.4 | 51.3 | 56.1 |
| | 全国平均値 | 身長（cm） | 116.7 | 122.6 | 128.5 | 134.0 | 139.7 | 146.0 | 154.0 | 161.1 | 166.1 |
| | | 体重（kg） | 21.4 | 24.2 | 27.6 | 31.2 | 35.2 | 39.6 | 45.3 | 50.5 | 55.0 |
| 女 | 釜石市平均値 | 人　　数 | 64 | 76 | 99 | 84 | 99 | 96 | 102 | 98 | 91 |
| | | 身長（cm） | 117.0 | 122.8 | 129.8 | 135.7 | 140.4 | 148.2 | 151.9 | 154.6 | 156.6 |
| | | 体重（kg） | 25.4 | 30.4 | 32.0 | 35.9 | 39.1 | 46.9 | 46.9 | 49.3 | 50.3 |
| | 岩手県平均値 | 身長（cm） | 116.1 | 122.5 | 128.4 | 134.4 | 141.4 | 147.8 | 152.2 | 155.4 | 156.1 |
| | | 体重（kg） | 21.8 | 24.5 | 28.1 | 31.6 | 35.9 | 41.2 | 45.4 | 49.1 | 50.7 |
| | 全国平均値 | 身長（cm） | 115.8 | 121.8 | 127.7 | 134.1 | 141.1 | 147.8 | 152.3 | 155.0 | 156.4 |
| | | 体重（kg） | 21.0 | 23.7 | 26.9 | 30.5 | 35.0 | 40.1 | 44.4 | 47.5 | 49.6 |

資料：令和７年度釜石市学校保健実態調査結果

### ⑷　令和７年度　児童・生徒の疾病状況

| 区分 | 視力0.9未満 | | 感染性眼疾患 | アレルギー性眼疾患 | その他の眼疾患 | 聴力難聴 | 耳疾患 | アレルギー性鼻疾患 | その他の鼻・副鼻腔疾患 | 咽喉頭疾患 | う歯 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 裸眼 | 矯正 | | | | | | | | | 処置完了 | 未処置 |
| 小学校 | 31.2 | 79.0 | 0.0 | 1.6 | 3.3 | 0.3 | 9.3 | 54.5 | 4.1 | 3.7 | 24.8 | 18.3 |
| 中学校 | 44.9 | 79.2 | 0.0 | 0.7 | 3.3 | 1.4 | 7.2 | 50.5 | 1.0 | 1.0 | 17.8 | 10.9 |

資料：令和７年度釜石市学校保健実態調査結果

## ７　釜石市教育研究所

### （１）基本方針

釜石市の学校教育の基本方針と重点目標及び教育実情をふまえ、当市の幼稚園・保育園・こども園・小・中学校の教育実践に資する活動を計画し、運営する。

また、当市の教育課題の解決やこれからの学校教育に求められる内容等について、研究・研修・相談活動を行うことにより、学校教育における教育成果の向上に寄与する。

### （２）運営方針

ア　学校・幼稚園等との連携を大切にした研究活動

当市の幼稚園・保育園・こども園・小・中学校及び教育研究団体との連携を図り、教育活動が行われる場との結びつきを緊密にする。

イ　教育活動の課題に応える研究と調査

学校教育をはじめ、社会・家庭教育の直面している課題に応えるものを積極的に研究・調査対象とし、課題の具体的な解明に努める。

ウ　資料収集と活用の充実

教育活動に係る資料の収集・活用の充実を図るとともに、教職員に関する研究実践上の相談及び研究成果の普及に努める。

エ　研究成果の活用

研究所の研究成果が各種研修会並びに当市の幼稚園・こども園・保育園、小・中学校の校内研究及び研修会の資料として活用されるように努める。

オ　子どもの健やかな育ちを目指す教育相談

①　教育相談室　：関係機関と連携を図り、児童・生徒に関する教育相談等に努める。

②　教育支援教室：通級を中心として、児童・生徒に学校生活に適応できる力を育てる。（若葉教室）

### （３）令和８年度の重点

ア　子どもとの信頼関係・心のつながりを視野においた、教師としての資質の向上

研究班・推進委員会の活動の中で、このことを常に意識した取組を行っていく。

イ　防災教育を核とした「いのちの教育」の充実と防災教育の手引きの活用

ウ　研究発表会の充実

研究発表会の目的や意義を明確にし、実りある発表会になるよう内容や運営面で創意工夫を行う。

エ　各研究班・推進委員会による主体的・協働的な取組による研究の充実

オ　教育相談室の充実

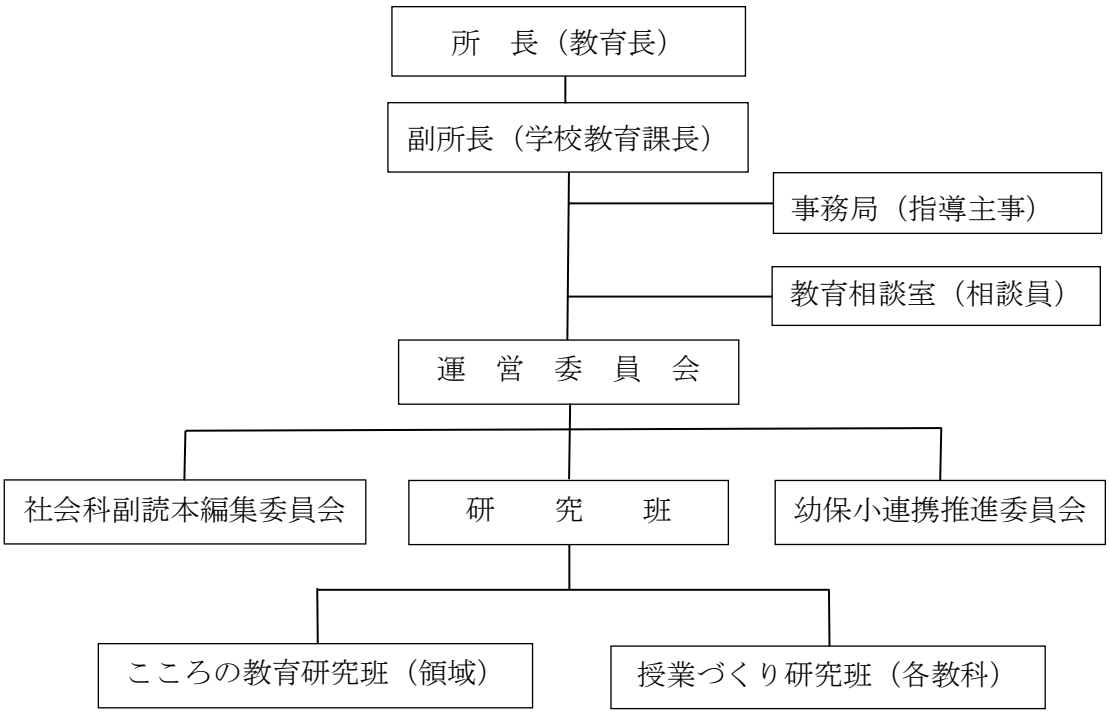
①　心身の不安や悩み、登校への不安等を抱える児童・生徒の援助及び指導のため、教育支援教室（若葉教室）を運営する。

②　児童・生徒の保護者からの悩みや相談を受け、適切な支援を行う。

カ　資料や１人１台端末の活用

これまで研究班等が作成した資料等の積極的な活用を図る。また、１人１台端末等、ＩＣＴ機器についても積極的に活用していく。

**（４）教育研究所運営組織**


所　長（教育長）
副所長（学校教育課長）
事務局（指導主事）
教育相談室（相談員）
運　営　委　員　会
社会科副読本編集委員会
研　　究　　班
幼保小連携推進委員会
こころの教育研究班（領域）
授業づくり研究班（各教科）

## ８　学校給食



| | |
|---|---|
| 名　　称 | 釜石市学校給食センター |
| 所 在 地 | 釜石市鵜住居町第10地割30番地1 |
| 電話番号 | 0193-29-1271 |
| 構　　造 | 鉄骨2階建 |
| 延床面積 | 2669.64㎡ |
| 対 象 校 | 小学校9校、中学校5校、<br>特別支援学校1校　計15校<br>釜石小、双葉小、白山小、平田小、<br>小佐野小、甲子小、唐丹小、栗林小、<br>鵜住居小<br>釜石中、甲子中、大平中、唐丹中、<br>釜石東中<br>釜石祥雲支援学校 |

### ⑴　沿革及び現況

学校給食センターは、当市の学校教育において長年の懸案事項であった全小学校の完全給食実施にあたり、調理場を集約し学校給食業務を効率的かつ能率的に処理することを目的として新設され、平成３年２月から供用を開始しています。

中学校給食は、生徒の健康増進を目的にミルク給食と併せて平成19年５月から選択制ランチサービス（弁当配送方式）を実施しておりました。しかし、東日本大震災において業者が被災し再開の目途が立たない状況であったため、震災後の児童生徒にバランスのとれた温かい給食を提供し、保護者の弁当作り等の負担軽減を図りたいとの想いから、新校舎の完成に合わせて鵜住居地区及び唐丹地区の仮設校舎に災害時の炊き出し機能を併せ持つ学校給食調理場を併設して、日本赤十字社等の支援により厨房設備及び消耗品を整備、学校給食センターにおいては、食器洗浄機等の大型設備機器の更新を行い、平成24年度からは市内小中学校全14校の完全給食を実施して参りました。しかしながら、開設から29年が経過し施設及び設備の老朽化が進む中で施設の敷地の賃貸借期限が平成32年７月であること、また、仮設である鵜住居地区の学校給食調理場の機能を集約する必要があることから、学校給食衛生管理基準に適合した新たな共同調理場を整備することとして、平成28年度において基本計画の策定及び事業手法の検討を行い、平成29年度から設計業務を実施、平成30年度建設工事に着手し、令和２年４月から現学校給食センターにおける給食供用開始をしております。

運営については、献立作成などの管理部門を除き、調理等業務に関しては簡易プロポーザル方式により業者を選定し、配送業務も民間に委託する等運営の効率化、合理化を図りながら安全で安心な学校給食の提供に努めております。

また、平成28年度まで給食物資の発注・支払業務については調理等委託業者に業務委託しておりましたが、学校給食に係る食材調達は、単に物資を購入することとは異なり食の安全・安心及び栄養管理に関する要素を含んでおり、献立作成と一貫した作業であること、地産地消としての地元生産品の直接購入においても事務の効率化が図られることから、給食物資の調達に関する業務は平成29年度から直接学校給食センターが行っております。

### ⑵　学校給食センター経営目標

学校給食センターでは、「働きがい」「学びがい」「生きがい」を生み出し、職場の活性化に努めながら、安定した経営を心がけています。

「食の安全」については、安全安心な食材の確保や衛生管理に十分な注意を払い、栄養バランスの良い安全でおいしい学校給食の提供に努めます。

また、0-157やノロウィルス等による食中毒を予防するため、釜石保健所の指導も得ながら、栄養士や調理員の安全衛生管理研修と実践の徹底、食材等の適正な温度管理、配送時の衛生的なコンテナの取扱いに努めます。

使用食材についても、安全な食材の選定と検収の強化、地場産農水産物の活用等地産地消運動の推進も図りながら「食の安全」の確保に努めます。

「食育」については、児童・生徒一人ひとりが正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通して自らの健康管理ができるように、引き続き、学校・保護者・関係団体等と協力し、食育の推進に努めます。

**学校給食センター運営方針**

① 教職員及び保護者の方々、関係各団体等と連携し、食に関する指導等「食育」の充実に努めます。
② 釜石保健所等と連携を図りながら衛生的な環境づくりに努めます。
③ 情報提供及び情報発信に努めます。
④ 委託業者を含めた全職員の資質の向上に努めます。
⑤ 給食センター内でのコミュニケーションを密接にします。
⑥ 業務の改善・経費の節減・安全な労働環境づくりに努めます。

### ⑶ 小中学校給食の概要

**ア 給食形態**

米飯給食　週３回（月・水・金）（年４回程度麺と併用）
パン給食　週２回（火・木）

**イ 年間給食回数（上限）**

小学校　177回　・　中学校　173回　・　特別支援学校は別途契約により決定する。

**ウ 給食費**

| 給食回数（上限） | 小学校 | | 給食回数（上限） | 中学校 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | １食あたりの単価 | 年間給食費 | | １食あたりの単価 | 年間給食費 |
| 177回 | 354円 | 62,658円 | 173回 | 404円 | 69,892円 |

**エ 給食センター事業**

（ア）リクエスト給食

ａ リクエスト献立

令和８年度は、釜石市立小中学校に在籍する小学２年生から中学３年生、岩手県立釜石祥雲支援学校に在籍する小学部２年生から６年生、中学部及び高等部を対象にアンケートを実施。

ｂ 卒業リクエスト給食

平成18年度から実施。（令和元年度からは小学６年生と中学３年生対象のアンケートにより実施）

（イ）学校給食残量調査

２学期間において主食（ご飯）及び副菜の残量調査を実施。

（ウ）食に関する指導

各校の要望を受けて栄養教諭による学校訪問指導を実施。

（エ）試食会・施設見学

学校の希望により随時実施。

一般向けの試食会は、希望により随時実施。

（オ）防災給食

防災教育の一環として非常食を取り入れた給食を実施。

（カ）まるごと釜石給食

地産地消の一環として地元産食材（米・魚・野菜）を使用した給食を実施。

（キ）姉妹都市・友好都市交流献立

愛知県東海市及び富山県朝日町にちなんだ給食を実施。

**オ　運営組織**

・釜石市学校給食センター運営委員会　　（委員数：20名以内　任期：２年）

委員構成は、小中学校の校長・小中学校のＰＴＡ会長・釜石保健所職員・学識経験者・その他教育長が指名する者で、令和７年度の委員数は16名である。

※釜石市学校給食センター物資献立検討委員会　　平成29年７月１日廃止

**カ　給食対象人数等の推移**

| 年度／学校名 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 釜石小学校 | 108 | 92 | 86 | 80 | 68 |
| 双葉小学校 | 147 | 135 | 130 | 119 | 104 |
| 白山小学校 | 34 | 32 | 32 | 31 | 33 |
| 平田小学校 | 153 | 148 | 160 | 143 | 142 |
| 小佐野小学校 | 323 | 288 | 285 | 283 | 250 |
| 甲子小学校 | 256 | 246 | 249 | 225 | 226 |
| 鵜住居小学校 | 146 | 140 | 147 | 143 | 129 |
| 栗林小学校 | 39 | 32 | 31 | 30 | 25 |
| 唐丹小学校 | 57 | 56 | 53 | 44 | 38 |
| 小　　計 | 1,263 | 1,169 | 1,173 | 1,098 | 1,015 |
| 釜石中学校 | 308 | 319 | 289 | 295 | 284 |
| 甲子中学校 | 122 | 129 | 128 | 124 | 112 |
| 釜石東中学校 | 97 | 100 | 83 | 85 | 86 |
| 唐丹中学校 | 16 | 20 | 22 | 31 | 27 |
| 大平中学校 | 106 | 101 | 81 | 81 | 75 |
| 小　　計 | 649 | 669 | 603 | 616 | 584 |
| 岩手県立釜石祥雲支援学校 | － | － | 48 | 44 | 41 |
| 小　　計 | － | － | 48 | 44 | 41 |
| 合　　計 | 1,912 | 1,838 | 1,824 | 1,758 | 1,640 |

資料：学校給食実施状況等調査（各年5月1日）

## ９　釜石市育英会

優秀な学生であって経済的な事由により修学の困難な者に対して、修学の機会を与え有用な人材を育成することを目的として、釜石市育英会を設置し学費の貸与、交通災害遺児に対する奨学資金の給付を行っている。

また、奨学生の追加募集（随時）及び奨学金の返還猶予を行っている。

### ⑴　釜石市育英会奨学生採用状況

| 区分／年度 | 新規採用者数（人） | | | 貸付額（円）（継続・新規） | 返還猶予者数(人) |
|---|---|---|---|---|---|
| | 高　校 | 大学等 | 計 | | |
| 令和２年度 | 0 | 5 | 5 | 10,404,000 | 1 |
| 令和３年度 | 1 | 1 | 2 | 6,816,000 | 1 |
| 令和４年度 | 0 | 3 | 3 | 6,528,000 | 2 |
| 令和５年度 | 0 | 3 | 3 | 6,336,000 | 1 |
| 令和６年度 | 0 | 0 | 0 | 2,556,000 | 2 |
| 令和７年度 | 0 | 2 | 2 | 2,556,000 | 2 |

### ⑵　釜石市育英会奨学金上限額の推移

（単位：円）

| 区　分／年　度 | 高　校 | 大学等 |
|---|---|---|
| 昭和 62～平成３年度 | 9,000 | 22,000 |
| 平成４～平成８年度 | 10,000 | 25,000 |
| 平成９～平成 13 年度 | 10,000 | 30,000 |
| 平成 14～平成 19 年度 | 10,000 | 40,000 |
| 平成 20 年度～ | 16,000 | 45,000 |

### ⑶　交通災害遺児奨学資金給付状況

| 区分／年度 | 給付者数（人） | | | | | 給付額（円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 大学等 | 計 | |
| 平成29年度 | － | 1 | － | 2 | 3 | 360,000 |
| 平成30年度～ | － | － | － | － | － | 0 |

※給付額：小学校入学 30,000円　中学校入学60,000円　高校入学 90,000円
大学入学 150,000円

### ⑷ 釜石市育英会役員

（理事任期：令和８年４月１日～令和10年３月31日）

令和８年４月１日現在

| 役　職 | 氏　名 | 委嘱時期 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 会　長 | 小　野　　共 | ― | 釜石市長 |
| 副会長 | 髙　橋　　勝 | ― | 釜石市教育委員会教育長 |
| 理　事 | 紺　田　和　枝 | 令和８年４月 | 学識経験者 |
| 理　事 | 千　葉　愛　子 | 令和４年４月 | 学識経験者 |
| 理　事 | 山　田　裕　子 | 令和６年４月 | 学識経験者 |
| 理　事 | 大　槻　英　樹 | 令和８年４月 | 県立釜石高等学校副校長 |
| 理　事 | 菊　池　錬　城 | 令和７年５月 | 釜石市ＰＴＡ連合会会長 |
| 理　事 | 樋　岡　繁　典 | 令和８年４月 | 甲子中学校校長 |

## 10　学校統合

当市の児童・生徒数は，昭和30年代後半をピークに、社会・経済状況の変化による人口の流出、少子化の進展などにより大幅に減少し、そのことによる学校の小規模化に加え、施設の老朽化など、児童・生徒を取り巻く教育環境が大きく変化したことから、昭和60年代以降、学校規模の適正化や、学区の見直しなどの議論が継続して行われてきた。

平成6年には、教育長の諮問機関として「釜石市立学校の通学区域等検討委員会」を設置し、「市立小・中学校の適正な通学区域の設定等」についての答申を受けて、平成13年3月に「釜石市立小・中学校統合実施基本計画」を策定し、実施基本計画後期計画に基づき、平成22年3月末に学校統合による学校規模の適正化・適正配置を図った。

### ⑴　前期計画（平成13年度～17年度）の概要及び進捗状況

| 前期計画の概要 | | 前期計画の進捗状況 | | |
|---|---|---|---|---|
| 統合予定校 | 統合予定年月日 | 統合年月日 | 統合後の校名 | 統合後の学校の位置等 |
| 唐丹小学校<br>大石小学校 | 平成13年４月１日 | 平成13年４月１日 | 唐丹小学校 | 唐丹小学校 |
| 八雲小学校<br>中妻小学校 | 平成15年４月１日 | 平成14年４月１日 | 双葉小学校<br>（校名公募） | 旧中妻小学校跡地に<br>校舎を新築整備 |
| 釜石小学校<br>大渡小学校 | 平成15年４月１日 | 平成15年４月１日 | 釜石小学校<br>（校名公募） | 旧大渡小学校 |
| 小佐野小学校<br>小川小学校 | 平成17年４月１日 | 平成17年４月１日 | 小佐野小学校<br>（校名公募） | 旧小佐野小学校 |
| 釜石第一中学校<br>釜石第二中学校<br>小佐野中学校 | 平成17年４月１日 | 平成18年４月１日 | 釜石中学校<br>（校名公募） | 旧八雲小学校跡地に<br>校舎を新築整備 |

### ⑵　後期計画（平成18年度～22年度）の概要及び進捗状況

| 後期計画の概要 | | 後期計画の進捗状況 | | |
|---|---|---|---|---|
| 統合予定校 | 統合予定年月日 | 統合年月日 | 統合後の校名 | 統合後の学校の位置等 |
| 鵜住居小学校<br>箱崎小学校 | 平成19年４月１日 | 平成19年４月１日 | 鵜住居小学校 | 鵜住居小学<br>校 |
| 甲子小学校<br>大松小学校 | 平成19年４月１日 | 平成19年４月１日 | 甲子小学校 | 甲子小学校 |
| 釜石東中学校<br>橋野中学校 | 平成19年４月１日 | 平成19年４月１日 | 釜石東中学校 | 釜石東中学校 |
| 鵜住居小学校<br>白浜小学校 | 後期計画期間中に統合する | 平成22年４月１日 | 鵜住居小学校 | 鵜住居小学校 |
| 平田小学校<br>尾崎小学校 | 後期計画期間中に統合する | 平成22年４月１日 | 平田小学校 | 平田小学校 |
| 栗林小学校<br>橋野小学校 | 後期計画期間中に検討を行う | 平成22年４月１日 | 栗林小学校 | 栗林小学校 |

### ⑶　統合対象校の統合前後の児童・生徒数及び学級数

単位：級、人

| 統合前の状況 | | | 統合後の状況 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 学校名 | 学級数 | 児童・生徒数 | 学校名 | 学級数 | 児童・生徒数 |
| 唐丹小学校 | 7 | 134 | 唐丹小学校 | 7 | 130 |
| 大石小学校 | 2 | 7 | | | |
| 八雲小学校 | 7 | 177 | 双葉小学校 | 13 | 330 |
| 中妻小学校 | 7 | 148 | | | |
| 釜石小学校 | 8 | 202 | 釜石小学校 | 10 | 255 |
| 大渡小学校 | 7 | 65 | | | |
| 小佐野小学校 | 14 | 326 | 小佐野小学校 | 14 | 410 |
| 小川小学校 | 7 | 78 | | | |
| 釜石第一中学校 | 7 | 134 | 釜石中学校 | 15 | 460 |
| 釜石第二中学校 | 5 | 122 | | | |
| 小佐野中学校 | 9 | 211 | | | |
| 鵜住居小学校 | 13 | 339 | 鵜住居小学校 | 13 | 367 |
| 箱崎小学校 | 4 | 27 | | | |
| 甲子小学校 | 11 | 260 | 甲子小学校 | 12 | 305 |
| 大松小学校 | 3 | 16 | | | |
| 釜石東中学校 | 7 | 218 | 釜石東中学校 | 7 | 237 |
| 橋野中学校 | 3 | 15 | | | |
| 鵜住居小学校 | 12 | 323 | 鵜住居小学校 | 13 | 361 |
| 白浜小学校 | 3 | 26 | | | |
| 平田小学校 | 9 | 212 | 平田小学校 | 8 | 214 |
| 尾崎小学校 | 3 | 19 | | | |
| 栗林小学校 | 4 | 27 | 栗林小学校 | 4 | 30 |
| 橋野小学校 | 2 | 3 | | | |

### ⑷　小・中学校数の推移

単位：校

| 年　　度 | 12年度 | 13年度 | 14年度 | 15年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 21年度 | 22年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 小学校数 | 18 | 17 | 16 | 15 | 14 | 14 | 12 | 12 | 9 |
| 中学校数 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 6 | 5 | 5 | 5 |

## 11　学校規模適正化

近年、全国的に人口減少と少子化が急速に進行しており、本市においても人口減少が続いている。令和５年11月には人口が30,000人を下回り、令和７年には28,000人台になるなど、減少傾向は一層進行している。

また、市内の児童生徒数も減少し続けており、今後さらに小・中学校の小規模校化が進むものと見込まれている。こうした状況を踏まえ、本市では、子どもたちにとって望ましい教育環境を整備するため、学校規模の適正化・適正配置に向けた検討を進めてきた。

### ⑴ これまでの主な取組

| 時期 | 取組内容 | 概要 |
|---|---|---|
| 令和３年３月 | 釜石市学校規模適正化検討委員会の設置 | 学校規模や教育環境の在り方について検討を開始した。 |
| 令和４年11月 | 提言の取りまとめ | 釜石市学校規模適正化検討委員会から、学校規模の適正化・適正配置に関する基本的な考え方をとりまとめた「釜石市立小・中学校における学校規模の適正化・適正配置に関する提言」が提出された。 |
| 令和６年３月 | 基本方針の策定 | 提言を受け、学校規模の適正化・適正配置の手法、基本的な考え方、学校規模の基準等を盛り込んだ「釜石市立小・中学校における学校規模の適正化・適正配置基本方針」を策定した。 |
| 令和６年８月 | 釜石市学校規模適正化・適正配置推進計画策定委員会の設置 | 基本方針を具体化し、学校規模の適正化・適正配置に取り組むための具体的な計画策定に向け、協議を開始した。 |
| 令和７年９月 | 推進計画の策定 | 児童生徒、保護者、地域、市民への説明や意見聴取、地域説明会、意見募集等を踏まえ、「釜石市学校規模適正化・適正配置推進計画」を策定した。 |

### ⑵ 現在の取組状況

現在は、本計画に基づき、学校統合や小中一貫教育の導入等に向けた取組を進めている。特に、令和９年４月に統合を予定している栗林小学校と鵜住居小学校、白山小学校と平田小学校については、それぞれ学校統合準備委員会を設置し、学校運営、教育課程、通学、児童への配慮など、統合に向けた具体的な事項について協議を進めている。